

全国2,140校の代表10校 3月14日(日) 第1日 上演

①14:00～ 香川県立高松工芸高校 (四国ブロック)
あした色の空へ

同校演劇部顧問生徒創作：川田正明・西澤智子・原田瑞穂

□ 主な全国大会出場・受賞歴

平成3年夏の全国大会『ざっと・いず・ざ・くえすちよん』
平成17年夏の全国大会『HR - ホームルーム - 』【優秀賞・特別賞受賞】
平成19年夏の全国大会『寂寞のせせらぎ』

□ 演劇部顧問からのメッセージ 中学2年生だった夏の日、テレビ画面にテロップが流れました。524名を乗せたジャンボジェット機が群馬県の山中に墜落…死者520名を出した航空機事故。7年後、日本航空に入社、新入社員研修で墜落現場に立ちました。地面にはまだ、事故機のリベット、ハニカム、ボルト、ナットが、無数の航空機部品が散乱し、慰霊小屋からは、坂本九さんの歌声が聴こえました。1本の割れたリベットを拾い、手を抜かない、自分に厳しい整備士になることを誓いました。

今の多くの高校生は、あの事故を知りません。事故が風化し、事故が忘れ去られていく…「人には思い出したくないことがたくさんある、でも、同じくらい忘れてはいけないこともたくさんある」「520の命を無駄にしたくない、二度とあってはならない」…ご遺族の方の気持ちを伝えたい。エンジニアが守るべきは絶対安全。部員・顧問一同、この想いが伝えられるように頑張ります！
(元日本航空株式会社整備士 川田正明)



②15:30～ 岡山県立岡山操山高校 (中国ブロック)
時には星くずのように

同校演劇部生徒創作：岡田英里子

□ 主な全国大会出場・受賞歴

昭和41年夏の全国大会『制服の触れ合う中で』
平成20年春の全国大会『ホーム』

□ 作品紹介 操山高校演劇部はここ3年間、ずっと家族関係の問題を追いかけてきました。身近で一番わかりあっているはずの家族。けれど、うまくいかない。そんな家族と2人の少女の物語です。



□ 演劇部より 操山高校演劇部は、ある時期完全に作家生活に入ります。毎日、稽古もせず、部員全員がひたすら書きまわります。ある者は雄叫びを上げ、ある者は床を転がります、もがきながら書きまわります。こうして生まれてきた作品の中で、最も部員の共感を得た1作品がコンクールへのスタートラインに立ちます。でも、本当の格闘はここからです。決して妥協せず、あきらめず、最後の最後までいい芝居作りこだわってきた操山高校の作品を見ていただければ幸いです。



③17:00～ 北海道帯広柏葉高校 (北海道ブロック)
トゥギャザー！
to get her!

同校演劇部創作

□ 主な全国大会出場・受賞歴

平成18年春の全国試行大会『七夕』
平成19年夏の全国大会『ウエスト・サイズ・ストーリー』
平成21年夏の全国大会『これからごはん』【最優秀賞受賞】

□ 演劇部からのメッセージ 学校祭の舞台裏。揺れ動く恋心。『to get her!』は、それぞれに片思いを抱えている高校生たちの心の動きを追いかけた物語。バカバカしいお笑いの中に、ほんの少しの切なさを織りまぜた舞台を、どうぞお楽しみください。

□ 演出からの一言 俺らの青春、こんな感じ。



④18:30～ 岡山県立津山東高校 (開催県代表)
まゆみのマーチ 原作：重松 清、脚色：同校演劇部顧問・高森 章

□ 主な全国大会出場・受賞歴 全国大会初出場

□ 演劇部顧問からのメッセージ どんなに力強い「励まし」よりも、どんなにすばらしい「ことば」よりも、あの時のわたしには、「好き」というささやきが嬉しかった。どんなにわたしを勇気づけてくれたことか。忘れない、あの「好き」。

原作を読み終えた時、身体の震えが止まりませんでした。重松先生に是非にとお願いしたところ、快く許可していただきました。津山市出身の重松先生の、地域に根ざした作品を上演できることに大きな喜びを感じています。



3月15日(月) 第2日 上演

①14:00～ 青森県立青森南高校 (東北ブロック)
もみじ

創作：同校演劇部生徒・木村貴仁

□ 主な全国大会出場・受賞歴

全国大会初出場・創部30年目にして初の東北ブロック大会出場

□ 演劇部からのメッセージ 私は、もうぼろぼろ。ぼろぼろになる資格もないのかもしれない。……人間じゃないんだから……。性同一性障害の主人公が、親からも友だちからも理解されず、ポロポロになって自殺の名所にやってくる。そこで、自殺防止のボランティアをしている土産物屋のおじさんと出会い、生きる希望を取り戻す物語。部員は合計7人。 そのうちキャストはたったの3人。その3人が合計14役に挑戦！



②15:30～ 大谷高校 (近畿ブロック)
村田さんと東尾さん(改)

創作：同校演劇部生徒・東尾 咲

□ 主な全国大会出場・受賞歴

平成13年夏の全国大会『私場所ワタクシバショ』
平成14年夏の全国大会『生きっぶし』
平成16年夏の全国大会『飛び人 ～とびびと～』

□ 演劇部からのメッセージ 現役が二人しかいない演劇部のお話。ある日、保護者会で舞台上立つことになる・・ESS部員として。しかし、演劇部員としての誇りは忘れない。この話は88%リアルで出来ています。私たち二人は、1年の88%は高校講堂でうごめいています。そんな高校講堂でのお話。一人だと広く感じる。二人だと・・やっぱり広く感じる。



③17:00～ 愛知高校 (中部日本ブロック)
文七元結

作：三遊亭園朝、潤色：同校演劇部

□ 主な全国大会出場・受賞歴

昭和62年夏の全国大会『祭りよ、今宵だけは哀しげに
- 銀河鉄道と夜 - 』【最優秀賞・創作脚本賞受賞】
平成18年夏の全国大会『死神』
平成20年春の全国大会『品川心中』

□ あらすじ・作品紹介 長兵衛は腕の良い左官職人だが博打にはまってしまう。負けが込んで借金を重ね、商売道具さえも質に入れてしまう有様。年の瀬もせまったある日、長兵衛が家に帰ると娘のお久がいなくなっており……。

『文七元結』は三遊亭園朝が手掛けた人情斬の大作です。この斬を舞台化することは、覚悟していたとはいえ、想像以上に難しい挑戦でした。何度もくじけそうになりましたが、試行錯誤を繰り返し、色々な人たちに支えられながらなんとか形になりました。まだまだ拙いですが、自分たちのできる最高の舞台をお見せしたいと思います。落語ならではの、笑いあり涙ありの世界と江戸っ子の心意気を是非ご覧下さい。



3月16日(火) 第3日 上演

①14:00～ 熊本県立玉名高校 (九州ブロック)
弱虫HERO

創作：同校演劇部顧問・樫山ゆり子

□ 主な全国大会出場・受賞歴 全国大会初出場

□ 演劇部からのメッセージ 何事にも自信を持ってない柔道部の少年マサルが、周囲の人とのかかわりの中で、少しだけ成長していく物語りです。役者たちの個性をキャラクターに託して、役者自身も、スタッフも、主人公たちと一緒に少しだけ成長してきました。笑いあり、涙あり (!)、淡い恋あり、スポ根あり (?!) ……。誰もが痛みを抱え、それを乗り越えて一歩前へ踏み出していく …… そんな青春の一ページを味わっていただければと思います。

部員は男子のみ5名という状況から出発し、助っ人も巻き込みながら、いくつもの「まさか!」を乗り越えてここまでやって来ました。これまで支えてくださった全ての皆様への感謝と、この作品にかける想いを、精一杯に表現したいと思います。

